

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 本郷台保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：日景 美穂子	定員（利用人数）：60名（59名）
所在地：〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-1-6	
TEL：045-897-3056	
ホームページ： <a href="https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/">https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2013年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社 ベネッセスタイルケアこども・子育て支援カンパニー			
職員数	常勤職員：16名	非常勤職員：14名		
専門職員	保育士	21名	看護師	1名
	管理栄養士	3名	栄養士	1名
	調理師	1名		
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)		
	保育室5室、調理室1室、事務室兼医務室1室、職員休憩室1室、予備室	鉄筋コンクリート造2階建、屋上に園庭があります。 入口はテンキー式の電子錠です。施設設備は警備会社の警備システムを導入しています。 多目的トイレ、エレベーター設置などバリアフリーになっています。		

ベネッセ本郷台保育園は、JR根岸線本郷台駅から徒歩で4分ほどの大通り沿いにあります。隣接する市営本郷台住宅を始めとして、周囲には商店やマンションが並んでいますが、近隣にはいたち川沿いを始めとして豊かな自然があり、子どもたちの散歩コースとなっています。ベネッセ本郷台保育園は、2013年（平成25年）4月に株式会社ベネッセスタイルケアによって設立されました。法人の保育事業では、首都圏を中心として保育園を多数運営しています。鉄筋コンクリート2階建ての園舎は、内装に木材や自然色を用い、明るく柔らかい印象です。園庭の一角では、子どもたちがプランターで花や野菜を育てています。定員は、60名（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時30分～18時30分です。

### ③理念・基本方針

『その子らしく、伸びていく。』

#### 保育理念

「よりよく生きる力=Benesse」の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

#### 保育目標

- 自分で考え、すすんで行動する子ども  
自分からすすんで物事に取り組む態度をもち、意欲をもって最後までがんばる子ども
- 友だちと楽しく遊ぶ子ども  
さまざまな人とかかわることの喜びを知りながら、楽しく遊べる子ども
- 感性豊かな子ども  
さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

## 保育方針

1. 子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます  
一人ひとりの子どもの人格を尊重し、個々の違いを認めながら、その子の持っている可能性を最大限に伸ばします。
2. 自然な生活の営みの中で子どもが「安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境」をつくります  
子ども中心の生活の流れをつくり、生活の場として子どもが安心し、落ち着いて過ごせる園環境にします。
3. 深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します  
保育者との愛情深いかかわりを大切にします。  
子ども同士の多様なかかわりを大切にします。
4. 身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします  
さまざまな体験を通して、一人ひとりの感性を育みます。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

保育所保育指針に基づき保育・教育を提供しています。乳児クラスは、学年別のクラス編成を基本とし、特定の保育者との関わりを大切にしています。子どもが安心して信頼できる大人との関係をつくり、一人ひとりの子どもが安定感をもって園生活を過ごせるようにしています。

3歳児以上は、異年齢でのクラス編成を基本とし、年齢の枠を超えた子ども同士の関わりを通して、思いやりの芽が育ったり協力する楽しさを味わったり、一人ひとりの個性を認め合い、自分らしさを発揮できるようにしています。子どもたちが保育園を自分の居場所だと感じ、安心できるよう落ち着いて過ごすことができる空間づくりを心がけています。兄弟姉妹が少ない最近の家族構成では体験しにくいことを、異年齢保育を通して経験したり、地域や文化を知る機会を提供し、子ども主体の遊びを通して、学びに向かう力を保育士も、ともに楽しみながら育む保育を実践しています。

なお、『その子らしく、伸びていく。』を支援するために、保育実践の中で大事にしている事を「その子の宇宙が拡がり続けるためのことば」として40のことばにまとめています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月16日(契約日)～2022年12月1日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回(2018年度)

## ⑥総評

### ◆特長や今後期待される点

#### 【特長】

#### ・子ども一人ひとりの主体性を大切にしたい保育を実践しています

園は、保育理念に基づき、一人ひとりの子どもが安心して園生活を送り、その子らしさを発揮できるように支援しています。保育室には、分かりやすい遊びのコーナーが設置されていて、子どもが自由に遊びを選び、一人であるいは友だちと一緒に自由な発想で遊びを広げることができます。保育士は、子どもに寄り添い、一緒に遊びを探したり、子どもの発見に共感したり、できたことを一緒に喜んだりしています。保育士は子どもの遊ぶ様子を見て、図鑑や遊具を用意したり、場所の調整をしたり、アドバイスをしたりし、子どもたちが主体的に活動し、集団での活動に広げられるように支援しています。今年度は、虫が好きな子どもからの発信を受けて、園庭のアゲハ蝶の幼虫を一人ひとりの子どもが名付け親となって世話をしました。羽化に失敗した蝶にスポーツドリンクをあげてみたり、飛べるようにという思いを込めて運動会のテーマにしてお神輿を作成したり、と子どもたちの思いを形にし、友だちと話し合って活動しました。このような取り組みを通して、子どもたちは、命の大切さを学び、お互いの違いやそれぞれの良さを認め、思いやりの気持ちが育っています。

#### ・職員は目指す方向性を共有し、連携して保育しています

職員は、入社時の研修や園内研修などで、理念に沿った保育のあり方を確認し、目指す方向性を共有しています。日々のクラスでの話し合いや申し送り、毎月のクラス会議などで、個々の子どもについての情報を密に共有して保育の振り返りをし、結果を全体会議で話し合い、改善に向けて取り組んでいます。また、経験やクラスの枠を越えた食育・子ども支援・保護者支援などの部門別会議があり、職員が主体的に課題解決に向けて取り組めるようにしています。コロナ禍での黙食などでコミュニケーションの機会が減ったことを受け、書面での共有など会議のあり方を見直して意見交換の場を増やすなどの工夫をし、職員間の意思疎通を図っています。このような取り組みを通して目指す方向性が共有され風通しの良い職場環境が作られていて、子どもたちの落ち着いた様子からも職員の連携の良さが読み取れます。

#### ・保護者と連携して子育てができるよう信頼関係の構築に努めています

園は、保護者が安心して子育てができるよう信頼関係の構築に努めています。送迎時の日々の会話や保育アプリを用いた連絡帳（乳児は毎日、幼児は必要に応じて）などで密に子どもの状況について情報交換しています。離乳食を始める前に保護者にお弁当をお願いして切り方や味付けを確認したり、食事についてのアンケートを実施して家庭での様子を確認し調理や献立に反映したりと、生活面での家庭との連続性を配慮した支援に努めています。保護者からの相談にも随時対応し、必要に応じて園長や主任、看護師、栄養士が専門性のあるアドバイスや助言をし、保護者が安心して子育てできるように支援しています。このような取り組みの結果、保護者との良い関係が築かれていて、今回の保護者アンケートでの満足度の高さからも読み取れます。

#### 【今後期待される点】

#### ・地域との関わりをさらに深め、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます

基本方針に「身の回りの社会・自然を通しての学び」を掲げ、子どもたちの地域での体験を大切にしています。晴れていれば毎日近隣の散歩にでかけ、地域の親子連れや商店の人たちとあいさつや会話を交わしています。近隣の小学校・保育園との交流や法人の高齢施設との交流などはコロナ禍でも工夫して行っています。ただし、地域に対して育児相談や育児講座などを行い、園の専門性を還元するまでには至ってなく園としても課題ととらえています。感染症予防にも配慮しつつ、懸案中の育児相談や離乳食講座などのあり方を工夫し、地域に園の専門性を還元していくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の受審は、自分たちが属する会社を改めて知り、園の保育や仕事を振り返り、その良さを再実感するとても貴重な機会になりました。

保護者アンケートの結果は「おおむね満足」という回答を多くいただき、職員の励みにもつながった一方で、そうではない内容に関しては、園の発信の仕方を変えていったり、できる形で改善を図ったりして、保護者の方々とさらなる信頼関係の構築に努め、子どもたちの幸せはもちろん、保護者の方々にもこの園を利用していることに喜びを抱いていただけるような園づくりに努めたいと思います。

園の強みである、職員間の抜群のチームワークで、今後は地域貢献の実現を検討し、地域に開かれた園として地域に根差し、定着することでより良い園運営につなげていきたいと思っています。

ベネッセ 本郷台保育園  
園長 日景 美穂子

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり